

# なんさい

2025  
3  
No.346



JA南彩

—— “地域” に寄り添い “未来” に繋ごう ——

特集1 組合員との対話集会

特集2 令和7年産の米作りについて



JA南彩

検索

URL:<https://www.ja-nansai.or.jp>

ホームページで  
広報誌「なんさい」が  
見られます。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

2025  
3  
vol.346

CONTENTS

表紙の紹介……………	2	みんなの広場……………	8
「第3回農産物直売所准組合員モニター」 を開催しました ……	3	生活情報……………	9
祝・稷山主任 4年連続優秀賞受賞…	3	営農情報……………	10・11
カメラニュース……………	4・5	特集2 令和7年産の米作りについて ……………	12・13
特集1 組合員との対話集会 ……	6・7	お知らせ……………	14・15・16

部員募集

— 女性部に参加しませんか —

JA南彩 女性部

JA南彩女性部は女性に共通する願いを実現したり、地域に根ざした活動を目指します。

活動は

- 仲間づくり
- 健康づくり
- 地域に根ざした活動
- 食生活の見直し

おもな活動内容

- ・ イベント参加
  - ・ グラウンドゴルフ大会
  - ・ 手芸教室
  - ・ 食農教育にかかる活動
  - ・ 料理教室
  - ・ 視察研修
  - ・ 健康体操
  - ・ 福祉活動
  - ・ 趣味の活動
  - etc…
- ※活動内容によって実費をいただく場合がございます



部費(年間) 500円

申込み先 お近くの支店・営農経済センターまで

# 「第3回農産物直売所准組合員モニター」を開催しました

## 【准組合員モニター活動レポート】

1月29日、菖蒲南支店で10名のモニター員が参加し、准組合員モニター活動の最終回が行われました。今回は、JA南彩の魅力をもっと感じてもらおうと菖蒲グリーンセンターのハウスでいちご狩りを体験しました。JA職員から「べにたま」「あまりん」「かおりん」「やよいひめ」の4種類のいちごの特徴を学び、甘さや風味の違いを楽しみました。その後、パック詰め体験が行われました。自分が摘んだ新鮮ないちごを詰めたパックが完成し、参加者は大満足の様子でした。

最後に、JA南彩の役職員との意見交換会が行われ、直売所に関する意見や提案が活発に交わされました。菊池組合長は「皆さまからのご意見をしっかり受け止め、今後の改善に活かしていきます」と話しました。

モニター参加者の皆さま、1年間にわたりご協力ありがとうございました。



## 祝・穂山主任 4年連続優秀賞受賞

1月27日、県民健康センター大ホール（さいたま市浦和区）で「令和6年度TACパワーアップ埼玉県大会」が開催されました。

県内の11JAから26事例（当組合からは3事例）がエントリーされ、菖蒲地区担当TACの穂山主任が『新規農業法人（里芋）に対する営農支援と「農業女子」の大切さ』をテーマに見事、優秀賞を受賞しました。穂山主任は4年連続での

受賞となり、「TACとして更にパワーアップすることができました。現状に満足せず、今後も生産者の皆さんをサポートしていきたいです」と受賞の喜びを語りました。

今後もTACは組合員に寄り添った活動を続けてまいります。





## 蓮田・久喜地区 大豆の合同検査を実施

1月30日、蓮田市の平野倉庫で、農産物検査員を含む12名が立ち会い、蓮田・久喜地区で収穫した大豆の合同検査を行いました。

検査した品種は「里のほほえみ」で、検査数量は蓮田市産578袋、久喜市産79袋（1袋30キロ）を確認しました。病害虫の被害粒は少なかったものの、高温の影響とみられる粒のばらつきが多く見受けられました。

農産物検査員は「ハムシやカメムシの防除を徹底したことで、被害を防ぐことができました。今後も病害虫防除の指導を徹底します」と話しました。



大豆の検査をする農産物検査員

## 新春初詣日帰り県外研修

2月5日、岩槻地区の資産管理友の会は、茨城県への研修を開催し、26名が参加しました。今年の研修は茨城県大洗町を訪れ、車内で吉田会計事務所による令和7年度税制改革に係わる研修を行い、大洗磯前神社で新年の祈願をしました。参拝後、地域の特産品や食事を楽しみ交流を深めました。

参加者は「何度も訪れた場所ですが、混雑もなく買い物や観光を楽しむことができ、有意義な一日を過ごせました」と話していました。



大洗磯前神社を参拝する参加者

## 家の光購読者へ感謝をこめて

2月7日、加須市のむさしの村で「第5回」A南彩家の光購読者・女性の集い」が開催され、女性部部員を中心に107名が参加しました。このイベントは教育文化活動において、その魅力を再発見してもらうことが目的です。

第1部では「女性部活動報告とご当地クイズ」とフリーアナウンサー小久保晴代さんによる健康セミナー「これからの健康管理～運動と脳トレ～」が行われました。第2部では、NHKラジオ体操・テレビ体操指導者の岡本美佳さんによる「目からうろこのラジオ体操」が行われ、参加者たちは体を動かしながら楽しくリフレッシュしました。「いつもラジオ体操をやっているが、こんなふうに意識をしてやったのは初めて！」「身体がすっきりして気持ちよかった！」と話していました。



ラジオ体操を指導する岡本美佳さん

### 白岡支部

### 女性部

### 岩槻支部



1月15日、はびすしらおかで、役員7名が

参加し、エコープ野菜と食べるタンメンみんなのレシピ発表会に応募するための料理教室を開催しました。



1月28日、岩槻城南支店で、25名が参加し、認知症サポーター養成講座を開催いたしました。



## 地区ふれあい活動「シャッターアート制作」で地域交流

1月28日と29日、菖蒲南支店はふれあい活動の一環として「シャッターアート制作」を行いました。制作には、地元小中学校の児童や生徒、JA職員など関係者67名が携わりました。

菖蒲中学校アート部の生徒が原画を作成してJA南彩梨選果センターのシャッターに下絵を描き、小林小学校と栢間小学校の5年生、さらにJA職員や有志が協力して下絵に色を塗りました。壁画は特産品の梨を手にする様子と、JA南彩のキャッチフレーズ「地域に寄り添い未来に繋ごう♪」が描かれました。参加した小学生は「初めてシャッターに色を塗ってドキドキした!」と話しました。2月8日にはセレモニーが行われ、関係者に披露されました。



※ふれあい活動は、組合員の協同活動を促進し、地域住民との交流を深めることを目的として活動しています。



感謝状を受けとる関係者

シャッターに色を塗る児童

## 「南部営農経済センター＆南彩お米アグリプラザ」 — 統合とリニューアルでさらに充実! —

2月10日、岩槻営農経済センターと春日部営農経済センターが統合し「南部営農経済センター」として新たにスタートを切りました。岩槻地区と春日部地区を中心に、これまで以上に組合員の皆さまの営農活動をサポートいたします。旧春日部営農経済センターは「南彩お米アグリプラザ」としてリニューアルオープンしました。お米をはじめ、

季節ごとの肥料、農薬や生活関連商品を販売します。精米プラントを併設しており、地産地消の取組みを進めていきます。

2月11日には各会場でイベントが開催されました。これからも地域の皆さまの暮らしを支え、地域経済の活性化に貢献していきます。



南部営農経済センター  
左から 高橋博営農経済委員長  
JA全農さいたま増田晴美副審査役  
菊池組合長  
JA埼玉県担い手サポートセンター  
高橋悦夫センター長  
近藤センター長



南彩お米アグリプラザ  
左から 高橋センター長  
JA全農さいたま増田晴美副審査役  
菊池組合長  
高橋博営農経済委員長  
金子喜雄営農経済副委員長



自己改革の進捗をご報告するため、昨年11月に各地区で「対話集会」を開催し、参加者の皆さまから多くのご意見やご質問をいただきました。これらを踏まえ数回にわたりQ&A形式でお伝えさせていただきます。今回は「営農・経済・金融・共済部門」についての、ご意見やご質問掲載しております。

自己改革については、組合員皆さまの評価を踏まえながら、必要な見直しを図ってまいります。

## 【営農・経済部門】

**Q 1** 自己改革中期3か年計画にある「新規就農者支援の件数」について、どのような支援をおこなっているのでしょうか。

**A 1** 新規就農者への支援は、県農林振興センター、行政、JAと連携し、作物選定や栽培方法、販売先の選定、販売方法に関するアドバイザーや相談を提供するものです。また、助成金や融資に関する情報提供も行い、総合的な支援を行った件数を示しています。

**Q 2** 親元就農と新規就農者にはどのような違いがあるのでしょうか。また、親元就農者も資金が必要とされていますが、支援体制を強化することで後継者が増える可能性があるのではないのでしょうか。

**A 2** 親元就農と新規就農者の違いについて説明します。親元就農とは、すでに農業を営んでいる家庭の後を継ぎ、農業を行う就農者を指します。一方、新規就農者は、農地を借り受けるなどして、新たに農業を始める方々です。JA南彩では、親元就農者にも支援を行っています。また、県農林振興センターや行政と連携し、

より充実した支援体制を整えています。このような支援を強化することが期待されています。

**Q 3** デイワークアプリで40件の採用があると聞きました。どのような方が申し込んでいるのでしょうか。また、JA職員が農作業の手伝いをデイワークアプリで行うことは可能でしょうか。

**A 3** デイワークアプリに関する詳細については、個々の利用者の状況や登録内容を把握することはできません。また、JA職員がアプリに申し込むことで、農作業に従事することは可能です。

**Q 4** 3JA合同ではなく、JA南彩独自で婚活パーティーを開催できないでしょうか。

**A 4** 現在、会員の増加が見られていないため、当組合単独での婚活パーティー開催は難しい状況です。単独で開催した場合、参加者が同じ会員に偏ってしまうので、合同での開催をしております。今後も新規会員の募集を継続し、より多くの方々にご参加いただけるよう努めてまいります。

**Q 5** TACには、今後もっと頻りに農家を訪問していただきたいと思えます。

**A 5** 今後は、より積極的に農家の皆さまを訪問し、一層のサポートを提供できるよう改善に努めます。

**Q 6** 営農経済センターや農機センターの職員が、補助金について説明できるように周知徹底していただきたい。

**A 6** 補助金には行政、JAグループ、当組合などさまざまな種類がございます。これらについては、ホームページや広報誌を通じて幅広く周知してまいります。さらに、個別の相談にも対応しておりますので、何かご不明点がございましたらご連絡ください。

**Q 7** 水稲防除講習会を、より早い時期に開催していただくと助かります。また、営農経済センターには、組合員一人ひとりに寄り添った活動をしていただきたいと思えます。

**A 7** 来年度の水稲防除講習会は、早い時期に開催するよう調整いたします。今後も、TACおよび営農経済センター職員が組合員の皆さまに寄り添い、よ

り一層支援できるよう努めてまいります。

**Q 8** 農薬メーカーと協力して、ドローンを使わずに簡単にカメムシ対策ができる箱剤の開発は可能でしょうか。

**A 8** 現在、農薬メーカーと共同で試験を進めております。

**Q 9** 肥料や農薬の価格が高騰しており、経営に影響が出ています。補助金や支援策について、何か対応はありますか。

**A 9** JA南彩では、組合員の皆さまを支援するために独自の支援策を講じております。また、行政にも積極的に支援を要請し、さらなる支援策を検討していただけるよう働きかけています。

**Q 10** アプリによる受発注システムを土日などでも利用できるようにしていただくと非常に便利です。早期導入を希望します。

**A 10** 現在、令和7年度の導入を目指して、システムの検証を進めております。導入時期が決まり次第、改めてお知らせいたします。

# JA南彩 組合員との対話集会

## — 自己改革の実践に向けた組合員との対話集会 —

**Q 11** 現在、土日が休みのため、購買事業の利便性が低下していると感じています。他業種などと提携して、利用しやすくする方法を検討していただけないでしょうか。組合員の利便性向上をお願いしたいです。

**A 11** JA南彩では過去に農業を実施したことがありますが、その際、利用者が著しく少なかったため、営業を終了した経緯があります。今後、皆さまからのご意見が多く寄せられましたら、再度土曜日営業の導入について検討いたします。また、他業種との提携については、他のJAではすでに提携している事例があります。引続き、さらなる利便性向上に向けて、提携の可能性について検討を進めてまいります。

はないでしょうか。

**A 12** まず、手数料引上げに関する理由が案内に記載されていないことについて、お詫び申し上げます。10月に開催された3地区の直売所役員会において、手数料引上げに関する説明を行い、さらに11月には会員の皆さま向けに詳細な説明を予定してまいりました。書面の都合でその内容を掲載することができませんでしたが、ご理解ください。手数料引上げの主な理由として、設備の改修・維持管理費用の増加、電気代や人件費の高騰が挙げられます。これらの費用増加に対応するため、手数料の引上げが必要となりました。また、消費者の離反を懸念される点についてですが、生産者の皆さまが作り上げる商品は、非常に高い品質を誇り、その価値に見合った価格設定をしていただくことが重要です。私たちは、価格が適切であれば、消費者の理解を得て生産者の所得確保に繋がると信じています。消費者にもその品質や価値を理解していただけるよう、引続き努めてまいります。

### 【金融部門】

**Q 13** 自己改革中期3か年計画における「資産形成・運用ニーズへの対応」に記載されたNISA口座獲得件数485件は、職員の個人ノルマですか。

**A 13** 事業としての目標は設定していますが、個人ノルマではなく、支店全体で取組むべき目標です。支店全体で目指す数値として設定されており、NISA口座開設に関しては、今後も引き続きニーズに応じて対応してまいります。

**Q 14** 孫のために貯金をしようとしたのですが、本人名義でないと言われました。高齢者や来店が難しい方へのサービスはありますか。

**A 14** お孫さまのために貯金をされる場合、法定代理人である親権者の方に手続きをお願いしております。来店が難しい方には、最寄りの支店にご相談いただければ、対応方法をご案内いたします。また、スマートフォンをお使いの方には、JAバンクアプリのご利用をおすすめしております。

### 【共済部門】

**Q 15** 雹害などの自然災害への対応が遅れているように感じます。担当者を増員し、迅速な対応体制を整えてほしいと思います。また、高齢者の中には契約内容を十分に理解できていない方も多いため、担当者がより分かりやすく、サポートできる体制が必要ではないでしょうか。

**A 15** 近年、自然災害の被害が増えており、限られた職員で対応しているため、ご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。今後もより迅速で分かりやすい対応を心がけてまいりますので、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

**Q 12** 「直売所会員向け説明会」の開催案内において、直売所手数料を引き上げる理由が記載されていないのはなぜでしょうか。また、手数料を引き上げることによって、最終的に価格

が上がリ、消費者離れや直売所の「安さ」を維持できなくなるのでは

※文中にある「自己改革3か年計画」については、広報誌1月号6ページ「特集1 JA南彩自己改革 令和6年度上半期の取り組み結果について」で詳しく掲載しております。

※類似の質問やご意見につきましては、一部要約させていただきますので、ご理解ください。

# 彩農あい!



## みんなの広場

### 農業法人 株式会社七色

代表取締役社長 <sup>あそ</sup>阿曾 <sup>あらた</sup>新さん（宮代町本田）

前職は、経営企画や新規事業開発を行っていた阿曾さんは、ある出会いがきっかけで、福祉施設の必要性和重要性を強く感じ、会社を辞めて施設を開設したそうです。また、福祉施設利用者と共に、自然の中で季節を肌で感じながら自ら種を蒔き、草を取り、収穫、販売まで楽しく仕事として出来る農業に携わりたいと2019年に七色を設立しました。

現在は50aの畑で、なす、ピーマン、ブロッコリー、さつまいも、ハウスでは椎茸（菌床栽培）を栽培しており、収穫した作物は、近くの直売所や町内外のインショップ（大型商業施設内の店舗）、七色の施設内で販売しています。

阿曾さんは「農業は天候に左右されて大変ですが、施設利用者の方々の得手不得手を考慮した作業ローテーションを組み『みんな楽しんで!』をモットーに、仕事をしています。農業と福祉が連携し、農業という仕事を通じて、活躍しているみんなの自信や生きがいになってくれればと思います。七色が社会参画していけるための自立への架け橋になってくれれば嬉しいです」と力強く話してくださいました。

（大久保通信員）



一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催

## 第3回 全国いちご選手権



石井晴夫塾長（中央）と担当職員

南彩農業協同組合「新規いちご栽培塾」のあまりんが入賞いたしました。



キスジノミハムシについて

久喜地区 (北部エリア) 担当の島崎です。

今回は大根などで被害が多く出ている、キスジノミハムシについてお話しさせていただきます。キスジノミハムシは、特に大根やかぶなどのアブラナ科作物に被害が多く見られ、高温乾燥条件では発生が助長されます。被害の様子としては、大根などの根部表面にクレーターのような小さなくぼみが見られます。被害が増えると生長が阻害され、肥大に影響したり、最終的には収量低下に繋がってしまいます。また、生育期に根部表面を加害されると食痕が残り、外観が劣化するため商品価値が低下してしまうことがあります。このような被害の抑制として、粒剤などによる薬剤での防除が効果的とされています。

近年では暖冬の影響もあり、様々な害虫の多発生が懸念されています。成虫態で地表面に落ちた葉の下などに隠れて越冬してしまうため、落ち葉なり枯草を放置せずに撤去し、越冬成虫の防除を意識することが大切です。

【キスジノミハムシに登録のある薬剤】

- ・フォース粒剤……残効性に優れ、は種時または植え付け時の1回の施用で長期間害虫を防除できる。(は種時 撒溝土壌混和 4~9kg/10a ※大根の場合)
- ・スタークル粒剤……土壌害虫は勿論、カメムシ類やアブラムシなど植物を吸汁加害する半翅目害虫など広く効果を示す。(は種時 撒溝土壌混和 4~6kg/10a ※大根の場合)

使用方法などご不明な点がございましたら、営農経済センターまたはTACまでご相談ください。



キスジノミハムシの成虫  
体調約2mm  
葉面に円形の食害痕を残す



キスジノミハムシ (幼虫) による根部の食害痕による被害

三年 高鳴る鼓動 松田葉月

第68回 JA共済 小・中学生書道コンクール  
JA全中会長賞  
埼玉県教育委員会教育長賞  
主催：全国共済農業協同組合連合会  
春日部市立大沼中学校  
3年 松田 葉月

作文の部  
埼玉県農協農政対策委員会 委員長賞  
「おこめがあきないりゆう」  
さいたま市立美園北小学校  
1年 吉田 惟人

作文の部  
埼玉県農業協同組合中央会 会長賞  
「祖父母と私とお米」  
白岡市立白岡中学校  
1年 岡安 葉那

第49回 「ごはん・お米とわたし」  
作文・図画コンクール  
主催：農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会/全国農業協同組合中央会

優秀賞  
久喜市立小林小学校 2年 服部 梅土  
蓮田市立蓮田南小学校 3年 枝 勇心  
春日部市立武里中学校 2年 佐藤 奏  
春日部市立武里中学校 3年 田中 香穂

作文の部  
優秀賞  
春日部市立八木崎小学校 1年 菅原 深月  
蓮田市立蓮田南小学校 6年 市村 明梨  
白岡市立白岡中学校 1年 熊倉 沙弥

### 3 立枯病の防除

苗立枯病（フザリウム菌、リゾープス菌、ピシウム菌）の発生を防ぐために、は種作業中やは種の前後に、表2の薬剤のいずれかで防除を行う。



図3 立枯病による発芽不良

表2 立枯病の防除に用いる薬剤

薬剤名	対象病害虫	希釈倍数・1箱あたりの使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
ナエファイン粉剤	苗立枯病 (フザリウム菌、 リゾープス菌、 ピシウム菌)	6～8 g	育苗箱土壌に 均一に 混和する	は種前	1回
ナエファイン フロアブル	苗立枯病 (フザリウム菌、 リゾープス菌、 ピシウム菌)	2000倍・0.5～1 L	土壌灌注	は種時	2回 以内
	苗立枯病 (ピシウム菌)	1000～2000倍・0.5L	土壌灌注	は種時～緑化期	
ダコニール1000	苗立枯病 (リゾープス菌)	1000～2000倍・1 L	土壌灌注	は種時～緑化期 (但し、は種 14日後まで)	2回 以内
		500～1000倍・500mL			
タチガレエースM 液剤	苗立枯病 (フザリウム菌、 ピシウム菌)	500～1000倍・500mL	土壌灌注	は種時 又は発芽後	1回

※ 使用量は、1箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）あたりの量。

※ ナエファイン粉剤、ナエファインフロアブル及びタチガレエースM液剤は、根の生育促進や移植後の活着促進、ムレ苗防止の効果がある。

### 4 育苗中の温度管理

- ・温度は表3を参考にする。日中は寒い日を除いてハウス内の被覆資材は掛けない
- ・夜に10℃以下に冷え込む時は、ムレ苗防止のため被覆資材で保温する
- ・覆土が乾いたのを確認してから、午前中にかん水する（朝、葉先に水滴がある場合は、かん水しない）
- ・ハウス内は平らにして苗箱を並べる  
段差があると局所的に乾燥したり水が溜まったりして、病気が発生しやすくなる

表3 緑化期から硬化期の温度管理の目安

		緑化期	硬化期
育苗日数		3～4日間	10～15日間
温度	昼	20～25℃	20～25℃
	夜	15～20℃	10～15℃

- 農薬はラベルを必ず確認し、表示された使用基準を守って使用してください。
- 令和7年1月7日現在の登録内容です。
- 農薬の飛散防止に努め、農薬の使用記録簿を付けましょう。



## 令和7年産水稻の育苗について

昨年は育苗期の気温が平年よりやや高く推移し、一部で苗の生育不良や病気が発生しました。また、令和6年の登熟期間の高温により、種子の休眠が深くなっているため、以下の点に注意し、発芽が揃った、均一で健全な苗を作りましょう。

### 1 種子の休眠対策

- ・種子を受けとった後は、冷蔵庫など低温になる場所で保管しない
- ・十分に浸種する（水温15℃で7日、18℃で4～5日が目安であるが、種子の状態をよく観察する。特に4月下旬以降気温が高い日の浸種では芽が早く出るので注意）
- ・催芽（芽だし）を行う（催芽機や育苗器等を使用し、一晚程度加温（30℃））
- ・は種は、芽がハトムネ程度（図1）に揃ったことを確認してから行う

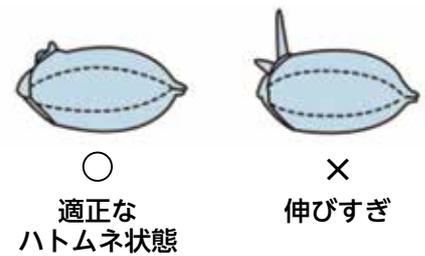


図1 適正なハトムネ状態

### 2 種子消毒

#### (1) 温湯消毒

- ・種もみの中心部まで温度が上がるようにする
- ・防除効果が低下するため、種もみ投入時に水温が低下しないように注意する
- ・60℃のお湯に10～15分間浸漬し、浸漬後は直ちに流水で冷却する
- ・温湯消毒後は病原菌が付着しないように、すぐに浸種を始める



図2 ばか苗病により徒長した苗

- ・温湯消毒は、ばか苗病（図2）に対して効果が不安定であるため、ばか苗病の予防を目的とする場合は薬剤による消毒を行う

#### (2) 薬剤による消毒

- ・薬剤による消毒を行う場合は、表1の薬剤の混合液に24時間浸漬する
- ・薬液は、種もみの倍量以上とする〔例：種もみ20kgの場合は、薬液を40L以上にする〕
- ・網袋へ種もみを詰める量は7割程度とする
- ・浸漬中は、網袋の中の種もみに均一に薬液が浸かるよう、時々袋を揺さぶる
- ・水温が低いと効果が劣るので、薬液の温度は10℃以上（適温範囲15～20℃）にする

表1 種子消毒に用いる薬剤

薬剤名	対象病害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
テクリードC フロアブル	いもち病、ばか苗病、褐条病、ごま葉枯病、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、苗立枯病（リゾープス菌、トリコデルマ菌）	200倍	24時間 種子浸漬	浸種前	1回
スミチオン乳剤	イネシンガレセンチュウ	1000倍	6～72時間 浸漬	は種前	1回

# 令和7年産における水田活用予算の見直しの主な変更点

## 令和6年産

### 水田活用の直接支払交付金 [R6当初]

#### ○戦略作物助成、産地交付金など\*

- ・飼料用米（多収品種）/米粉用米への数量払  
標準単価8.0万円  
(収量に応じて5.5～10.5万円/10a)
- ・飼料用米（一般品種）への数量払  
標準単価7.5万円  
(収量に応じて5.5～9.5万円/10a)
- ・新市場開拓用米の複数年契約\*：1万円/10a

など

※コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象

#### ○畑地化促進助成 ※①～③はR5補正予算

「畑地化促進事業」と同じ趣旨

- ①畑地化支援\* ②定着促進支援\*
- ③産地づくり体制構築等支援
- ④子実用とうもろこし支援\*

### 畑地化促進事業 [R5補正]

- 畑地化支援\*：14.0万円/10a
- 定着促進支援\*：2.0(3.0\*)万円/10a×5年間  
※加工・業務用野菜等

#### ○産地づくり体制構築等支援

- ①産地づくりに向けた体制構築支援  
1協議会あたり上限300万円
- ②土地改良区決済金等支援  
上限25万円/10a

### 畑作物産地形成促進事業\* [R5補正]

- ・対象作物：麦、大豆、高収益作物、子実用とうもろこし
- ・支援単価：4万円/10a (R7年に畑地化する場合は4.5万円/10a)

### コメ新市場開拓等促進事業\* [R6当初]

- ・対象作物：新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）
- ・支援単価：4万円/10a、3万円/10a、9万円/10a

## 令和7年産

### 水田活用の直接支払交付金 [R7当初]

#### ○戦略作物助成、産地交付金など\*

- ・飼料用米（多収品種）/米粉用米への数量払  
標準単価8.0万円  
(収量に応じて5.5～10.5万円/10a)
- ・飼料用米（一般品種）への数量払  
標準単価7.0万円  
(収量に応じて5.5～8.5万円/10a)
- ・新市場開拓用米の複数年契約\*：1万円/10a

など

※コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象

#### ○畑地化促進助成 ※①～③はR6補正予算

「畑地化促進事業」と同じ趣旨

- ①畑地化支援\* ②定着促進支援\*
- ③産地づくり体制構築等支援
- ④子実用とうもろこし支援\*

### 畑地化促進事業 [R6補正]

- 畑地化支援\*：10.5万円/10a
- 定着促進支援\*：2.0(3.0\*)万円/10a×5年間  
※加工・業務用野菜等

#### ○産地づくり体制構築等支援

- ①産地づくりに向けた体制構築支援  
1協議会あたり上限300万円
- ②土地改良区決済金等支援  
上限25万円/10a

### 畑作物産地形成促進事業\* [R6補正]

- ・対象作物：麦、大豆、高収益作物、子実用とうもろこし
- ・支援単価：4万円/10a (R8年に畑地化する場合は4.5万円/10a)

※会計検査院からの指摘を踏まえ取組や現場確認の改善を実施

### コメ新市場開拓等促進事業\* [R7当初]

- ・対象作物：新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）
- ・支援単価：4万円/10a、3万円/10a、9万円/10a

※現場確認の改善を実施

注：\*印を付した事業及び支援メニューは、農業経営基盤強化準備金の対象となります。

# 令和7年産の 米作りについて

主食用米等の令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し  
(令和6年10月公表基本指針)

## 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

令和6年6月末民間在庫量	A	153
令和6年産主食用米等生産量	B	683
令和6/7年主食用米等供給量計	$C = A + B$	836
令和6/7年主食用米等需要量	D	674
令和7年6月末民間在庫量	$E = C - D$	162

令和6年産の  
生産量の見通し  
と同水準の  
生産量

## 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

令和7年6月末民間在庫量	E	162
令和7年産主食用米等生産量	F	683
令和7/8年主食用米等供給量計	$G = E + F$	846
令和7/8年主食用米等需要量	H	663
令和8年6月末民間在庫量	$I = G - H$	182

※ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

出典：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」

## 営農相談

毎月直売所で病害虫防除、雑草防除の営農相談コーナーを設けています。

4月9日(水)

岩槻農産物直売所  
(あさつゆの里)  
9:30~11:00  
048-798-8311

4月16日(水)

久喜農産物直売所  
(久喜キラリ直売館)  
9:30~11:00  
0480-25-1183

4月23日(水)

菖蒲グリーンセンター  
9:30~11:00  
0480-85-4444

※都合により時間が変更になる場合があります。

## 第29回通常総代会 地区別議案説明会の日程と会場について

第29回通常総代会、地区別議案説明会の開催日程と会場(予定)をご案内いたします。  
なお、4月定例理事会承認後、総代の皆さまへ正式にご案内させていただきます。

### ■ 第29回通常総代会日程と会場について ■

**日時** 6月12日(木) 午後2時00分より **会場** 蓮田市総合文化会館 ハストピア

### ■ 地区別議案説明会日程と会場について ■

地区名	月日	時間	場所
春日部地区	5月29日(木)	午前10時00分	本店
岩槻地区	5月29日(木)	午後2時00分	さいたま市民会館 いわつき
蓮田地区	5月30日(金)	午前10時00分	蓮田市総合文化会館 ハストピア
宮代地区	5月30日(金)	午後2時00分	宮代支店
白岡地区	6月2日(月)	午後2時00分	はびすしらおか
久喜地区	6月3日(火)	午前10時00分	久喜江面支店
菖蒲地区	6月3日(火)	午後2時00分	菖蒲南支店

## ノーネクタイスタイルの 実施について



当組合では、従来より5月~10月にクールビズを実施してまいりましたが、省エネルギーの強化や業務の効率化、働き方改革の一環として、服装について**通年でノーネクタイスタイル**とさせていただきます。組合員の皆さまには、本取組みへのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

**開始日 令和7年4月1日(火)**



		8	9		6		
	9						1
			4				2
	7			6		3	
4							6
		2		1			8
	1				7		
2							3
			8		3	4	

# 数独

# NumberPlace

出題 ニコリ

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

## ルール

- ① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- ② タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つ）のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

## 応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】 3月末日 発表は5月号です。

## 1月号の答え

答え **3**

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



1	2	9	4	8	7	5	6	3
6	3	8	2	9	5	7	1	4
4	7	5	1	6	3	2	9	8
7	9	1	3	5	6	4	8	2
8	5	4	7	①	2	9	3	6
3	6	2	8	4	9	1	5	7
9	4	7	6	3	1	8	②	5
2	1	3	5	7	8	6	4	9
5	8	6	9	2	4	3	7	1

1月号応募総数69通

85 〒344-0064

J A 南彩

ふれあい広報課

春日部市南  
二丁目4番30号

● 郵便番号・住所  
● 氏名・年齢  
● J A 南彩と本誌への  
ご意見・ご希望・短歌・  
イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。  
※お一人さま1枚までのご応募とさせていただきます。

## 【理事会だより】

令和7年1月28日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決、承認されました。

- (1) 令和6年12月末財務状況について
- (2) 令和8年度職員採用計画について
- (3) 理事との取引の承認について
- (4) 組合員の出資口数の減口について

## 主要事業の概要

— 令和7年1月末現在 —

出資金につきましては、28億9,159万円です。

	令和7年1月末	令和6年3月末	前年度末増減
正組合員数	9,086人	9,066人	20人
准組合員数	19,375人	19,044人	331人
組合員数合計	28,461人	28,110人	351人

	令和7年1月末	令和6年1月末	前年度同月対比
貯金高	2,755億6,225万円	2,783億6,219万円	98.9%
貸出金	708億4,474万円	690億1,671万円	102.6%
共済保有高	5,869億1,567万円	5,954億9,750万円	98.5%
販売高	25億9,055万円	24億3,302万円	106.4%
購買品Ⅰ供給高	21億7,259万円	18億3,782万円	118.2%
購買品Ⅱ供給高 (各直売所)	11億206万円	10億125万円	110.0%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

## 編集後記

ふれあい広報課の裏話②

広報誌なんさいのカメラニュースには、日本農業新聞に送稿した記事を広報誌なんさい用に変えて掲載している記事もあります。

今回は「大豆の合同検査」の記事を変えています…新聞記事では「○○だ」というような言い回りの表現ですが、広報誌では「です」「ます」の表現になります。表現を変える作業のみならず、この変えていく作業が結構大変で苦労するところなのです。

編集担当 N



# 令和8年度 JA南彩職員募集

## “地域”に寄り添い “未来”に繋ごう

素敵な仕事を素敵な笑顔で♪

あなたの力で地域の皆さまの期待に応えませんか!!



職 種 ▶ 総合職

採用予定人数 ▶ 若干名

応募資格 ▶ 令和8年3月までに大学・短大  
及び専門学校卒業見込の方



左記のQRコードのマイナビサイトからエントリーして下さい。



### お問合せ先

〒344-0064 埼玉県春日部市南二丁目4番30号

JA南彩 企画管理部人事教育課

TEL 048-720-8050

## お知らせ

ご葬儀の事前相談・ご連絡は

# JA葬祭総合センター

 0120-145-731 (24時間・365日対応)

番号案内サービス(104)へお問合せの際は、必ず「JA南彩の葬儀」とお伝えください。



▲こちらの問合せフォームからメールでの相談も可能です。